

向陽 SSH NEWS 第13号



編集：向陽高校SSH事務局

普通科1年・2年，環境科学科1年・向陽中学生 青少年のための科学の祭典 2014おもしろ科学まつり和歌山大会に出展

12月13日(土)・14日(日)の2日間，和歌山大学およびサテライトブースとしてイオンモール和歌山において“2014おもしろ科学まつり和歌山大会”が開催されました。

本校から「ニボシのかいぼう」，「すごいぞ！表面張力！！」，「ペーパーブーメランで遊ぼう」，「カラフルイクラをつくろう！」，「-196℃の世界」というタイトルで5つのブースを出展し，環境科学科1年生，普通科1年生・2年生の生徒と向陽中学生が担当しました。

ニボシを解剖してその作りを観察するブース，表面張力を目の前で実感できるブース，投げると手元に戻ってくるペーパーブーメランを作るブース，人工イクラをつくるブース，液体窒素を使った実験ブースなど，参加した多くの方々に，実験を体験していただきました。

向陽の生徒達は，それぞれのブースで子どもたちに優しく接し，自作の説明ボードを用いて丁寧な説明をしていました。参加した子ども達は，現象の不思議さだけでなく，その理由も理解し，科学の楽しさを感じ取ってもらえたようです。



平成26年度 和歌山県高等学校生徒科学研究発表会

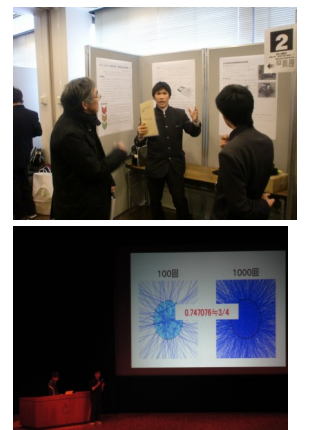
「里山における生態系の調査」 & 「ベルトランの逆理」 優秀賞 W受賞

12月18日(木)，平成26年度和歌山県高等学校生徒科学研究発表会が御坊市民文化会館で行われました。この発表会は，県内スーパーサイエンスハイスクール3校(海南高等学校・日高高等学校・向陽高等学校)と理数系科専門学科のある学校の生徒，および理数系分野に関する課題研究実施校の生徒の交流を促進し，理数系分野における今後の活動の拡大，充実を図ることなどを目的として開催されています。

本校からは，環境科学科2年生「SS探求科学Ⅱ」の課題研究から21テーマ，物理部，地学部からそれぞれ1テーマの計23テーマのポスターセッション発表が行われました。また，生物ゼミ「里山における生態系の調査～チョウ相の比較～」，「ベルトランの逆理」の2テーマが舞台上で口頭発表を行いました。環境科学科1年生も参加し，様々な発表を聞きました。1年生は，来年度取り組む課題研究についてのヒントを掴んだようです。また，ポスターセッションでは本校だけでなく，他校の生徒の発表に耳を傾けることで，2年生，1年生ともに他校との交流を深めていました。県内の他校の発表者，見学者と議論を交わしていました。

講演会では江口浩一先生(京都大学工学研究科物質エネルギー化学専攻 教授)から，「エネルギーと環境の化学～燃料電池と触媒～」のタイトルでご講演いただきました。エネルギーの効率化に関わる触媒の働きやこれからの燃料電池の可能性などについて，材料のサンプルを回覧で見せていただくなど，詳しく説明いただきました。

表彰式では，多数の発表の中から，本校環境科学科2年生から生物ゼミ「里山における生態系の調査～チョウ相の比較～」と数学ゼミ「ベルトランの逆理」が発表において優秀賞を受賞しました。



SSH関係 今後の予定

- 1月29日(木) 5限 先端科学講座 **【科学英語講座：環境科学科1年対象】** 京都大学 Denis FRATH 博士
- 2月5日(木) 4, 5限 先端科学講座 **【化学系講座：普通科2年理系対象】** 大阪府立大学 岡勝仁教授
- 2月17日(火) 向陽SSH成果発表会**【課題研究発表：環境科学科2年】** プレゼン見学 2年普通科理系生徒
ポスターセッション見学 向陽中3年生